リーディングDXスクール事業 【実践事例】

喬木村立喬木第一小学校

【取組内容】 発達段階に応じたICTの活用(②情報活用能力の育成)

Point

学校全体で「対話的な学び」の推進をテーマに取り組んでいるため、文字入力が学習活動の前提になることを共通認識できており、低学年からのタイピング練習に職員が積極的に取り組めている

Point

低学年段階から、「自分の考えを画面上で共有する」「友だちの考えをもとに自分の考えをよりよくする」ことに取り組んでいるため、自分の考えを開示することに抵抗感がなく、多様な考えをベースに学ぶ環境が整っている。

1年生・手書き



2年生・手書き入力⇒タイピング



6年生・タイピング/構造化



